
『人・理』－あの頃の代償は消ゆ

嘩月－ka「d/z」uki－

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『人・理』—あの頃の代償は消ゆ

【Nコード】

N3467J

【作者名】

嘩月—k a「d／z」u k i—

【あらすじ】

— — — — —

ただ前を見て歩いていたつもりだった 光を目指していた
なのに何故かな 苦し過ぎて目が揺れる

振り向けばいつだって 手を振っていた人達が居た
でも其処にはもう何も無くて 不安に潰されそう
どうして？ 誰彼……

気がつけばいつだって 誰彼が居てくれてた
なのに其を忘れて 自分勝手だった

笑えたあの日々 どれだけ大事だったか 考えた事も無かった
失ってから気付いても独りで泣くだけ

踏み出した一步が正しく無い道だったのか
では何をして生きろと言う
光の見えない道なき道に行く
自分の決めた事だから

例えこの先に何も無くても 引き返す訳にはいかない
失った日々はもう捨て去ったから

さよなら淡く明るき日々よ

気付けばまた人達が周りで笑っていて

少し淋しい記憶が帰って来るけど 今を笑うよ
孤独になど誰もなれないのは 解っていたつもり でも嬉しかった
風が囁いた……

横を見れば肩を並べ歩く人達 脆い涙腺は緩んでしまつて 独りじ
やなく一人で泣いていた
今度は失わない様に
同じ様に誰彼を助けたい
それが偽善だと罵られても構わない

踏み出した一步が今を導く為だったのか
だから今を強く生きろと言う
光の见えない道なき道を行く
自分の決めた事だから

例えこの先に何も無くても 引き返す訳にはいかない
始まった日々は綺麗な泡のよう

ありがとう淡く明るき日々よ

光差す道を共に歩こう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3467j/>

『人・理』－あの頃の代償は消ゆ

2011年1月19日12時30分発行